

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校ITカレッジ沖縄
設置者名	学校法人フジ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	サイバーセキュリティ科	夜・通信	18単位	6単位	
	ITスペシャリスト科	夜・通信	21単位	9単位	
商業実務専門課程	ゲームクリエイター科	夜・通信	22単位	6単位	
工業専門課程	夜間ITエンジニア科	夜・通信	15単位	3単位	
文化教養専門課程	日本語ビジネスコース	夜・通信			
(備考) ※日本語ビジネスコースは留学生対象のため申請の対象外					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校ITカレッジ沖縄
設置者名	学校法人フジ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	企業代表取締役	令和2年6 月4日より 1年	経営計画の策定、人 事、労務、財務
非常勤	大学准教授	令和2年6 月4日より 1年	組織運営体制のチ ェック、法務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校ITカレッジ沖縄
設置者名	学校法人フジ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の作成過程、内容精査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『シラバス(授業計画)作成要領』を作成 <p>各授業の概要、到達目標、評価方法、授業計画等を記載するよう各担当教員に求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画の第3者チェック <p>教務会議を主催し、カリキュラムポリシーとの相違点の有無のチェックを行っている。</p> <p>授業計画の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスは、刊行物として学生に配布するとともに、webにて公開 	
授業計画書の公表方法	https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業態度、出席、学期末試験を講義への意欲として、どのように学習評価として評価をするかについて、授業開始時にオリエンテーションを行い学生に周知、またシラバスにて公表している。</p> <p>各授業教員は、授業計画(シラバス)に記載した客観的な評価基準・方法のとおり、成績を認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年2回の成績発表時に、「成績証明書」に学生自身の履修状況について、成績評価(S・A・B・C等)を点数化した評価値(G P A・GradePointAverage)を表示している。数値は「履修した科目の評価に一定のG P (S評価:4.0、A評価:3.0、B評価:2.0、C評価:1.0)を与え、このG Pにその科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位数で割る」ことで算出する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>専門学校 I Tカレッジ沖縄は、定められた年限在学し、所定の単位数を取得し、学科にふさわしい知識、技術、資格を取得、そして特別研究(卒業研究)の遂行を通して、社会人として次に記す知識と能力を発揮できる素地を培ったと認める者に、卒業を認め専門士の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共に関する理解力、豊かな人間性、世界的視野で物事を見ることのできる能力。 ・専門分野における基礎知識、およびそれを踏まえた理論的思考能力。 ・他者の意見を理解し、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校ITカレッジ沖縄
設置者名	学校法人フジ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/
財産目録	https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	サイバーセキュリティ科	平成31年度 文部科学省 告示第4号			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		63単位 単位時間/単位	単位時間 13/単位	単位時間 6/単位	単位時間 44/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
		63単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		40人	0人	3人	4人	7人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ITスペシャリスト科	平成31年度 文部科学省 告示第4号			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
3年		95単位 単位時間/単位	単位時間 18/単位	単位時間 12/単位	単位時間 65/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
		95単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45人		51人	0人	4人	6人	10人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ゲームクリエイター科	平成31年度 文部科学省 告示第4号			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	74 単位 単位時間/単位	単位時間 18/単位	単位時間 4/単位	単位時間 52/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
	夜		74 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		110人	60人	4人	6人	10人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	夜間 IT エンジニア科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	25 単位 単位時間/単位	単位時間 2/単位	単位時間 0/単位	単位時間 23/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位
	昼		25 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		0人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）【様式第2号の3より再掲】 授業計画の作成過程、内容精査 ・『シラバス（授業計画）作成要領』を作成 各授業の概要、到達目標、評価方法、授業計画等を記載するよう各担当教員に求めている。 ・授業計画の第3者チェック 教務会議を主催し、カリキュラムポリシーとの相違点の有無のチェックを行っている。</p> <p>授業計画の作成・公表時期 ・シラバスは、刊行物として学生に配布するとともに、webにて公開</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）【様式第2号の3より再掲】 年2回の成績発表時に、「成績証明書」に学生自身の履修状況について、成績評価（S・A・B・C等）を点数化した評価値（GPA・GradePointAverage）を表示している。 数値は「履修した科目の評価に一定のGP（S評価：4.0、A評価：3.0、B評価：2.0、C評価：1.0）を与え、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位数で割る」ことで算出する。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <p>専門学校ITカレッジ沖縄は、定められた年限在学し、所定の単位数を取得し、学科にふさわしい知識、技術、資格を取得、そして特別研究(卒業研究)の遂行を通して、社会人として次に記す知識と能力を発揮できる素地を培ったと認める者に、卒業を認め専門士の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共に関する理解力、豊かな人間性、世界的視野で物事を見ることのできる能力。 ・専門分野における基礎知識、およびそれを踏まえた理論的思考能力。 ・他者の意見を理解し、自らの意見を的確に表明できるコミュニケーション能力。
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生との個別相談や面談を実施し、学習内容や方法等について指導する。 ・上級生による学習や生活サポートの援助を行う。

サイバーセキュリティ科

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (%)	17人 (89%)	2人 (11%)
(主な就職、業界等) IT業界、通信業界、ゲーム業界			
(就職指導内容) 就活講義、個別面談、就職ガイダンスへ参加、校内企業説明会の実施等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 資格(SEA/J、CompTIA Network+, CompTIA Cloud Essential等)			
(備考) (任意記載事項)			

サイバーセキュリティ科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	19人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個々に応じたきめ細かい指導、居場所づくり、仲間づくり、個別補修の実施等		

IT スペシャリスト科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90%)	1人 (10%)
（主な就職、業界等） IT 業界、通信業界、ゲーム業界			
（就職指導内容） 就活講義、個別面談、就職ガイダンスへ参加、校内企業説明会の実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 資格（SEA/J、CompTIA Network+、CompTIA Cloud Essential 等）			
（備考）（任意記載事項）			

IT スペシャリスト科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	10人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個々に応じたきめ細かい指導、居場所づくり、仲間づくり、個別補修の実施等		

ゲームクリエイター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
51人 (100%)	4人 (8%)	26人 (50%)	21人 (41%)
（主な就職、業界等） IT 業界、通信業界、ゲーム業界			
（就職指導内容） 就活講義、個別面談、就職ガイダンスへ参加、校内企業説明会の実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 資格（SEA/J、CompTIA Network+、CompTIA Cloud Essential 等）			
（備考）（任意記載事項）その他は留学生、特定ビザに切り替え就活継続中			

ゲームクリエイター科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	1人	2%
(中途退学の主な理由) 学力不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個々に応じたきめ細かい指導、居場所づくり、仲間づくり、個別補修の実施等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
サイバーセキュリティ科	100,000円	750,000円	220,000円	
ITスペシャリスト科	100,000円	750,000円	220,000円	
ゲームクリエイター科	100,000円	750,000円	280,000円	
夜間ITエンジニア科	100,000円	670,000円	130,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検及び評価の内容について、「自己点検評価シート」を作成し、学外理事を含めた学校評価委員会(4名)を組織し、学校評価委員会のもと評価及び分析を年に2回行う。またその結果については、以下のホームページ上に公表する。 https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社パートナーブレイン取締役	令和2年4月1日より 1年	経営計画の策定、人事、 労務、財務
沖縄女子短期大学准教授	令和2年4月1日より 1年	組織運営体制のチェッ ク、法務
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.it-college.ac.jp/about/disclosure/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.it-college.ac.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校ITカレッジ沖縄
設置者名	学校法人フジ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		2人	2人	2人
内 訳	第Ⅰ区分	2人	2人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				人
合計 (年間)				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令 (令和元年政令第49号) 第2条第1項第1号、第2号、

第3号に掲げる区分をいう。
 ※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科 を含む。）及び専門学校（修業 年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）
--	---------	---

	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。